

福岡県建設業法に基づく監督処分の基準 新旧対照表（令和5年5月26日改正）

新	旧
<p>一・二（略）</p> <p>三 建設業者に対する監督処分の基準</p> <p>1（略）</p> <p>2 具体的基準</p> <p>(1)～(3)（略）</p> <p>(4) 建設工事の施工等に関する他法令違反</p> <p>①（略）</p> <p>② 建設工事の施工等に関する法令違反</p> <p>i・ii（略）</p> <p>iii 宅地造成及び特定盛土等規制法、廃棄物処理法違反 役員等又は政令で定める使用人が懲役刑に処せられた場合は15日 以上、それ以外の場合で役職員が刑に処せられたときは7日以上の営 業停止処分を行うこととする。</p> <p>iv・v（略）</p> <p>③・④（略）</p> <p>(5)～(8)（略）</p> <p>四・五（略）</p> <p>附 則</p> <p>1 この基準は、令和5年5月26日から施行する。</p> <p>2 この基準は、その施行後に不正行為等が行われたものから適用し、施行日前に 行われた不正行為等に対する適用については、なお従前の例による。</p>	<p>一・二（略）</p> <p>三 建設業者に対する監督処分の基準</p> <p>1（略）</p> <p>2 具体的基準</p> <p>(1)～(3)（略）</p> <p>(4) 建設工事の施工等に関する他法令違反</p> <p>①（略）</p> <p>② 建設工事の施工等に関する法令違反</p> <p>i・ii（略）</p> <p>iii 廃棄物処理法違反 役員等又は政令で定める使用人が懲役刑に処せられた場合は15日 以上、それ以外の場合で役職員が刑に処せられたときは7日以上の営 業停止処分を行うこととする。</p> <p>iv・v（略）</p> <p>③・④（略）</p> <p>(5)～(8)（略）</p> <p>四・五（略）</p>